

私が民家園に行き始めたころは、入園無料の時代でした。府中街道から細い道を歩いて入園者の少ない静かな佇まいが好きでした。月日を経て、のちに園長になられた三輪修三先生の構想で炉端と掃除を試して、その後すぐに第一回の講座があり、当時の名簿によると、六十数名で「炉端の会」と名乗って発足しました。私は囲炉裏は生まれて初めて...



上の写真は、三澤家当主と三輪先生（1999/1/19）

三人の学芸員先生の後について三人三様のとても参考になった事でした。

掃除はお手の物ですが、間もなく糠袋も作りました。

研修旅行で最初に伺ったのが「三澤家」。倉の中の古銭を二枚づつポチ袋に修めてお土産に頂いたのには驚きと感激でした。

「岩澤家」と「原家」の解体も見学しました。大好きな「船越の舞台」、一日中一人でガイドをしたことがあります。現在の「炉端の会」の成長と発展、川崎市文化賞受賞、益々の会の皆様のご活躍をお祈りいたします。



「菅原家」の移築と一緒に「民家園」に来たカタクリ、菅原家の入口の右の脇に毎年カタクリの咲くのが楽しみでした。でも年々花の数が少なくなり二輪になってしまっ

て、次の年には咲いてくれませんでした。上の写真は、岩澤家解体の様子（1987/7/7）（寂しかった思い出）